

## 49年間の思い出をありがとう

錦生保育所 閉所式を開催 (3/28)



49年間続いた「錦生保育所」の閉所式を3月28日に行いました。式では、先生から子どもたち一人一人へのはなむけの言葉のあと、園児たちが歌を歌い、別れを惜しまました。堀幸子<sup>ゆきこ</sup>所長は「錦生保育所での思い出を宝物として、心も体ものびのびと育てね」と子どもたちに語りかけました。保育所内は、地域住民からのメッセージや、卒園生が作った色とりどりの風船の飾りでいっぱい!最後にはみんなでシャボン玉を飛ばし、温かな雰囲気の中、式は幕を閉じました。

錦生保育所に通っていた子どもたちは、赤目保育所など、希望する園へ転園しています。

## 障害のある人もない人も、みんなつながろう

ともにかんじる つながるフェスタ & 就労マルシェ (3/29)



誰もがともに暮らしやすいまちを目指して、総合福祉センターふれあいでの「ともにかんじる つながるフェスタ 2025」を初開催!会場では、市内の事業所に通うアーティストたちの個性あふれる作品展や、障害者スポーツ「ボッチャ」の体験コーナー、手話歌の発表会など、障害の有無にかかわらず、来場者同士が笑顔で交流を深めました。



また、障害者の就労をサポートする事業所が集う「就労マルシェ」も同時開催。障害福祉サービス事業所に通う利用者の皆さんが、誇りを持って生産・販売しているパンや焼き菓子、新鮮な野菜、工芸品などを通じて「つくる人」や「働く仲間」と多くの来場者がつながる貴重な機会となりました。



## 力を合わせて頑張ります!

令和8年度新規採用職員の辞令交付式 (4/1)



4月1日に新規採用職員の辞令交付式を行い、一般事務職や消防職、保健師などが新たなスタートを切りました。北川市長は「SNSに親しい世代だからこそ、職場の仲間や市民と直接話す機会を大切にしてほしい。市民に寄り添い、より良い名張市となるよう一緒に頑張らしましょう」と激励しました。名張の未来を担うフレッシュな皆さんの、これからの活躍に期待しています!